

6度目の年男、 ようやく分かりかけた世間、 残り少ない人生への挑戦



余市医師会
森内科胃腸科医院

森 常 明

私は昭和18年の癸未（みずのとひつじ）に生まれ、二度目の年男は昭和30年乙（きのと）未で、中学1年生の時です。三度目は昭和42年丁（ひのと）未で、大学卒業近くで、大学紛争の真っ只中でした。四度目は昭和54年己（つちのと）未で、一月に仁木で開業を始めた年です。満35歳です。五度目は平成3年辛（かのと）未、私は47歳で、40～50は鼻垂れ小僧でした。この年の3月にはバブルがはじけ、失われた20年と呼ばれる低成長期に突入しました。国際的には12月に70年間続いた超大国ソ連が崩壊しました。六度目は平成15年癸未、60歳の還暦になりました。七度目の今年（乙未）になります。干支の十干のうち癸、乙、丁、辛、己は「と」で終わっています。「と」は弟。「え」は兄で、甲（きのえ）、丙（ひのえ）、戊（つちのえ）、庚（かのえ）、壬（みずのえ）です。戊辰戦争、甲子園、丙午その時の年号です。

60歳で生まれた時と同じになりますので、今年は13歳の少年になります。喜寿で17歳、米寿で29歳。このように考えるとまだ夢がありそうです。70歳ぐらいなら平気で働けます。若い時のようにがむしゃらだけでなく、時には旅行もしたりと楽しみながら良いでしょう。また研究や仕事が好きなら、より充実したその人に合った生き方を過ごせる年ごろと実感しております。

年金ばかりを頼りにしないで、老後のことは国民的な議論があって良いと思います。それには、まず第一は健康である事です。今やウイルス肝炎も完治する時代、ピロリ菌の除菌で胃癌も減少傾向です。高血圧、糖尿病、高脂血症そして心疾患治療も、私が医師になった時と比べると驚くほどの進歩です。同時に私が開業して一番感じることは、親も含めて友人知人が喫煙により、能動喫煙、受動喫煙どちらにおいても多くの方が他界しています。それは癌ばかりでなく、肺疾患等で苦しんでいるのを見ると、喫煙は何とかしてほしいです。

第二には、私の診療所は泊原発の21km範囲です。第一次安倍内閣の時に、2006年12月13日の参議院において、吉井英勝参議院議員が安倍首相に対し原発事故防止関連の質疑応答をしています（吉井氏は京大・原子工学科卒。原発問題のスペシャリスト）。スウェーデンの電源喪失の事故を例に出して、6回の

質問をしています。安全神話を信じきっている首相はすべて「そうならないよう万全の態勢を整えている」だけの回答でした。福島第一原発事故を引き起こした、全電源喪失をこの時に真剣に対策しておけば、こんな惨めな結果にならなかった可能性があったと言われていました。また新たな安全神話で原発の再稼働をしようとしています。根本的な問題、使用済み核燃料の処理が解決されていません。元総理の細川氏は、元総理小泉氏の応援で脱原発を訴えて、都知事選挙に出馬しました。原発との共存は好ましくありません。エネルギーは石炭もあり、風力、地熱もあり何とかかなりそうですし、雇用の創出も生まれ、もっと住みやすくなりそうな気がします。

第三には、資本主義社会が健全に発展してもらいたい。誰が望んだのかわからない戦争で、多くの犠牲者を出した事実を風化させてはなりません。しかも戦争に全責任を負った指導者は誰もいなかった。今も日本の国の政治は無責任体質の潮流を受け継いでいるようです。異次元の金融緩和はさらにまた追加して259兆円になりました。資金の貸し出しはその1.5%です。中小零細企業には事業計画がきちんとしていなければ貸出しません。大幅な円安になりました。輸出は思ったほど良くなかず、輸入品が高くて物価高になります。国際公約の消費税10%引き上げはさすがに迷っています。解散も決定されましたが、この号が発刊されるころにはどうなっているのでしょうか。

第四は私事です。今年（乙未）です。私はまだ人生の集大成が終っていないと感じています。30年前開園した特養が未完成だからです。町と福祉会とで協議しています。今、山登りでは9合目です、今年中に何とか山頂にたどり着きたいです。そうして84歳の丁未までは生きてみたいです。

私は12月に変形性左膝症のため、「OP」予定です。リハビリが大変と聞いております。開業してから大きな手術は2度目です。一度目は平成5年1月に術後性頬部嚢胞で10日間入院しました。術後の苦しみは大変でした。

膝が治ったらまた元気に頑張りたいと思います。

